

「家族時間」に関する アンケート調査の結果



平成 21 年3月
福 井 県

目 次

I	調査方法の概要	……………	1
	1 調査目的 2 調査対象 3 抽出方法 4 調査方法 5 実施時期 6 回収結果		
II	調査結果		
	1 保護者向けアンケート（「家族時間」に関するアンケート調査）	……………	2
	(1) 回答者の属性		(2)
	(2) 設問別の調査結果		
	問1 「家族時間」を伸ばすことについて		(4)
	… 97%の世帯が、「とても大切」「どちらかといえば大切」		
	問2 1週間の内、お子さんが保護者の皆さんと一緒に夕食をとる頻度		
	… 50%の世帯が、「毎日、お子さんと保護者がそろって夕食をとる」		
	問3 「放課後活動定休日」の認知度		(5)
	… 中学2年生のいる世帯の 67%が知っている。		
	問4 「放課後活動定休日」(11月17日)における定時退社、早期帰宅の働きかけの有無(父親、母親)… 呼びかけや働きかけのあった職場は、4%		
	問5 過去1年間の「家族時間」について(長さ、内容の充実度)		(6)
	… 長さについては、6割弱～7割弱が「十分」「概ね適当」 内容の充実度も、6割弱～7割弱が「十分」「概ね適当」		
	問6 「家族時間」の長さ、内容の充実度が不足している理由		(7)
	… 不足の理由は、「保護者の仕事が忙しい」が最多 高学年になるほど、「子どもの学校、学校以外の活動が忙しい」が増加		
	問7 お子さんと保護者との会話について		(8)
	… 「お子さんの学校活動」については、95%が「よく話す」、 「ときどき話す」		
	問8 「家族時間」を充実させるための行政に対する要望		(9)
	… 行政への要望は「企業への働きかけ(有給休暇や育児休暇の取得、超過勤務の縮減)」が多い。		
	問9 お子さんと保護者の家族時間(一緒に過ごす時間)		(10)
	… 平日の母親の家族時間は4時間1分、父親は1時間52分 子どもが大きくなるほど、家族時間は減少		
	主な自由意見		(16)
	2 児童・生徒向けアンケート（「家族との生活」について）	……………	18
	(1) 回答者の属性		(18)
	(2) 設問別の調査結果		
	問1 「家族時間」の長さについて		(20)
	… 小5の約8割、小2・中2の約7割が「たくさんある」「ちょうどいい」		
	問2 家族生活の満足度について		
	… 小2・小5の約9割、中2の約8割弱が「とても楽しい」「楽しい」		
	主な自由意見		(21)

I 調査方法の概要

1 調査目的

県では、子育て家庭の「暮らしの質」を向上させるため、「子育て中の家族が、話し合い、楽しみあい、協力し合うため、ともに過ごす時間」を「家族時間」と定義し、これを伸ばす運動を展開している。

この運動推進のため、県内の「家族時間」の状況や県民のニーズを把握し、今後の施策の立案・実施に活かすことを目的として、県内の児童・生徒およびその保護者に対するアンケート調査を行った。

2 調査対象

(1) 児童・生徒向けアンケート

県内公立の小学2年生（約 7,800 人の内 1,257 人）

小学5年生（約 8,000 人の内 1,252 人）

中学2年生（約 8,300 人の内 1,226 人） 計 3,735 人

(2) 保護者向けアンケート

(1) の児童・生徒の保護者(計 3,735 人)

3 抽出方法

(1) 各学年の市町別抽出数は、当該学年の市町別児童・生徒数を基に按分し、それを目安とした。

(2) 抽出は各学校1クラスとし、各市町1学校以上を抽出することとした。同一市町から複数校抽出する場合は、学校の当該学年規模(児童・生徒数の多寡)、地理的なちらばり(まちなか、郊外等)を考慮し、調査校を抽出した。なお、抽出に当たっては福井県教育関係職員録(福井県学校生活協同組合)、学校基本調査報告書(福井県)を用いた。

4 調査方法

学校を通じて、配布、回収した。

5 実施時期

平成 20 年 11 月（児童・生徒、保護者への配布 11 月 12 日頃 回収 11 月 21 日頃）

6 回収結果

	調査数	児童・生徒用 回収数	回収率	保護者用 回収数	回収率
小学2年生	1,257	1,246	99.1%	1,201	95.5%
小学5年生	1,252	1,240	99.0%	1,199	95.8%
中学2年生	1,226	1,187	96.8%	1,125	91.8%
計	3,735	3,673	98.3%	3,525	94.4%

Ⅱ 調査結果

1 保護者向けアンケート(「家族時間に関するアンケート調査」について)

(1) 回答者の属性

○小学2年生

【同居家族の人数】

	回答者数	構成比
2人	14	1%
3人	89	7%
4人	348	29%
5人	309	26%
6人	221	18%
7人	137	11%
8人	52	4%
9人	16	1%
10人	3	0%
11人	1	0%
無回答その他	11	1%
計	1,201	100%

【同居家族の内、未成年者の数】

	回答者数	構成比
1人	131	11%
2人	591	49%
3人	380	32%
4人	66	5%
5人	8	1%
6人	1	0%
7人	0	0%
8人	0	0%
無回答その他	24	2%
計	1,201	100%

【同居家族の構成】

	回答者数	構成比
親子のみ	662	55%
親子、祖父母(曾祖父母)	460	38%
〃、その他(おじ、おば等)	62	5%
親子、その他(おじ、おば等)	4	0%
上記以外	7	1%
無回答その他	6	0%
計	1,201	100%

【同居家族の内、子育てに関わっている人の数】

	回答者数	構成比
1人	50	4%
2人	569	47%
3人	206	17%
4人	285	24%
5人	58	5%
6人	23	2%
無回答その他	10	1%
計	1,201	100%

○小学5年生

【同居家族の人数】

	回答者数	構成比
2人	14	1%
3人	86	7%
4人	340	28%
5人	296	25%
6人	239	20%
7人	161	13%
8人	35	3%
9人	13	1%
10人	4	0%
11人	0	0%
無回答その他	11	1%
計	1,199	100%

【同居家族の内、未成年者の数】

	回答者数	構成比
1人	131	11%
2人	598	50%
3人	383	32%
4人	55	5%
5人	9	1%
6人	0	0%
7人	3	0%
8人	1	0%
無回答その他	19	2%
計	1,199	100%

【同居家族の構成】

	回答者数	構成比
親子のみ	613	51%
親子、祖父母(曾祖父母)	521	43%
〃、その他(おじ、おば等)	38	3%
親子、その他(おじ、おば等)	3	0%
上記以外	13	1%
無回答その他	11	1%
計	1,199	100%

【同居家族の内、子育てに関わっている人の数】

	回答者数	構成比
1人	55	5%
2人	527	44%
3人	231	19%
4人	282	24%
5人	58	5%
6人	31	3%
無回答その他	15	1%
計	1,199	100%

○中学2年生

【同居家族の人数】

	回答者数	構成比
2人	13	1%
3人	79	7%
4人	251	22%
5人	312	28%
6人	276	25%
7人	148	13%
8人	32	3%
9人	5	0%
10人	1	0%
11人	0	0%
無回答その他	8	1%
計	1,125	100%

【同居家族の内、未成年者の数】

	回答者数	構成比
1人	155	14%
2人	541	48%
3人	368	33%
4人	43	4%
5人	5	0%
6人	0	0%
7人	0	0%
8人	0	0%
無回答その他	13	1%
計	1,125	100%

【同居家族の構成】

	回答者数	構成比
親子のみ	513	46%
親子、祖父母(曾祖父母)	541	48%
〃、その他(おじ、おば等)	42	4%
親子、その他(おじ、おば等)	8	1%
上記以外	13	1%
無回答その他	8	1%
計	1,125	100%

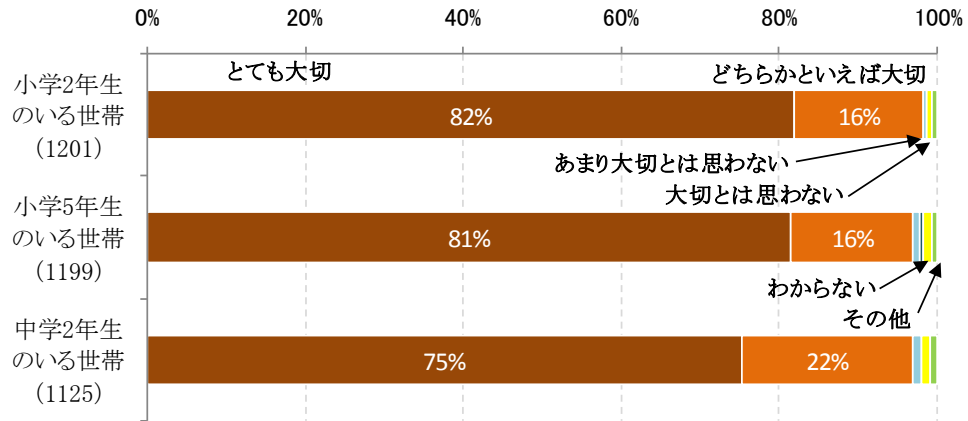
【同居家族の内、子育てに関わっている人の数】

	回答者数	構成比
1人	38	3%
2人	461	41%
3人	257	23%
4人	290	26%
5人	51	5%
6人	17	2%
無回答その他	11	1%
計	1,125	100%

(2) 設問別の調査結果

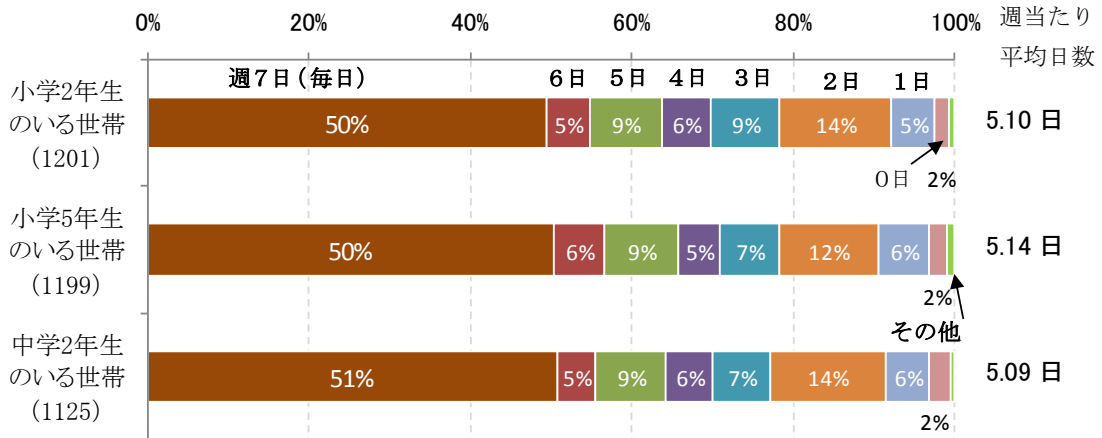
97%の世帯が、「家族時間」を伸ばすことは「とても大切」、「どちらかといえば大切」と回答

問1 あなたのご家庭において「家族時間」を伸ばすことについて、どう思われますか。

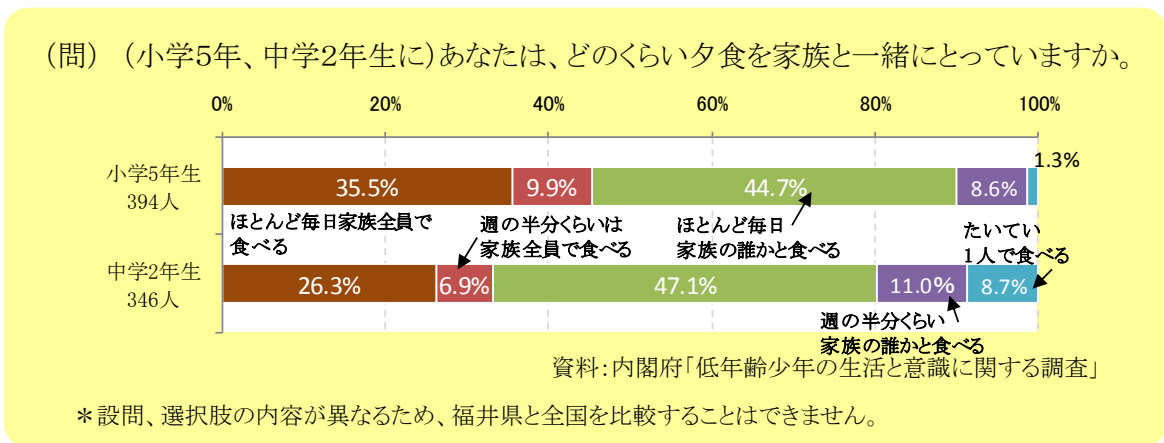


50%の世帯が、「毎日、お子さんと保護者がそろって夕食をとる」と回答

問2 調査票を持ち帰ったお子さんと保護者の皆さんと一緒にそろって夕食をとられる機会は、だいたい週に何日ありますか。

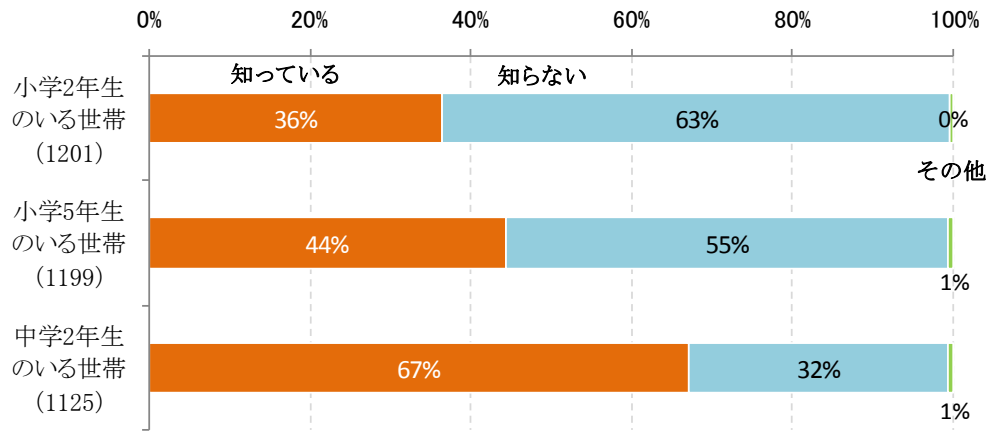


《参考》 (全国 平成 18 年)



中学2年生のいる世帯の67%が、「放課後活動定休日を知っている」と回答

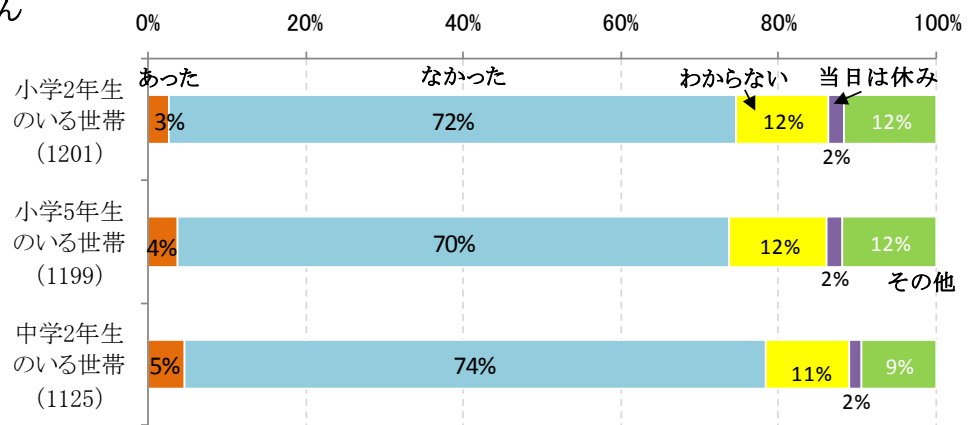
問3 毎月第3日曜日(家庭の日)の翌日の月曜日を「放課後活動定休日」に指定していますが、ご存じですか。



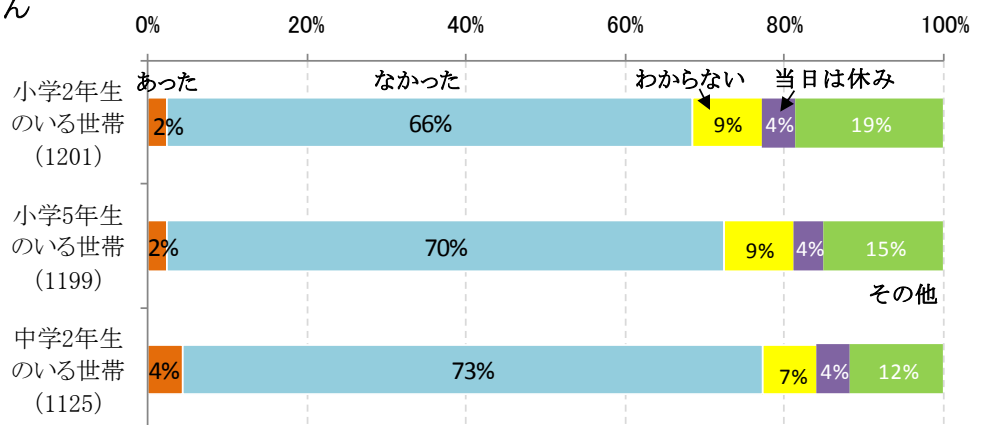
「放課後活動定休日」に呼びかけや働きかけのあった職場は、4%

問4 お父さん、お母さんの職場では、11月17日の「放課後活動定休日」に、定時退社や帰宅時間を早めるような呼びかけや働きかけがありましたか。

■お父さん

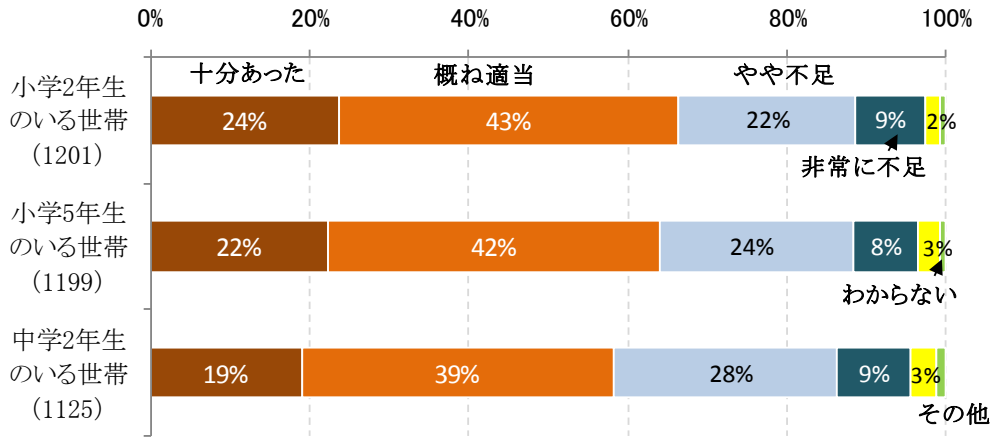


■お母さん



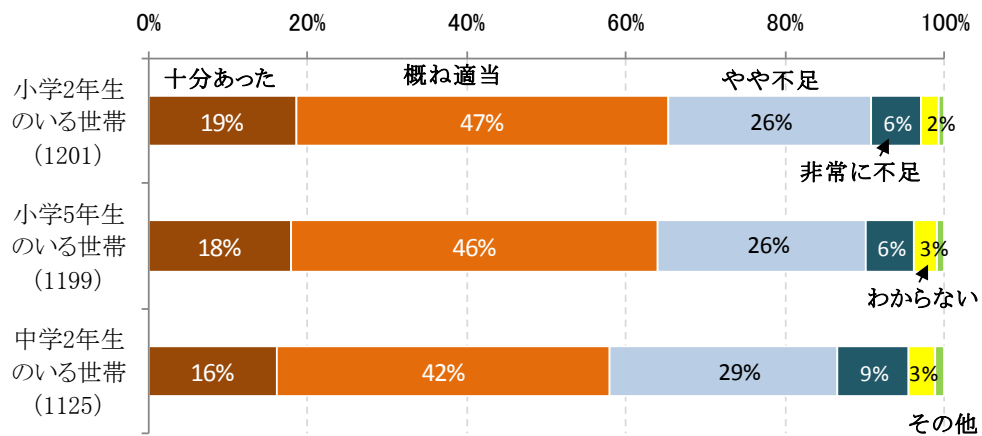
家庭時間の「長さ」については、6割弱～7割弱の世帯が「十分あった」、「概ね適当」と回答

問5-1 調査票を持ち帰ったお子さんと保護者の皆さんの「家庭時間」の「長さ」は、次のどれに当てはまりますか(過去1年間ほどの間について)。



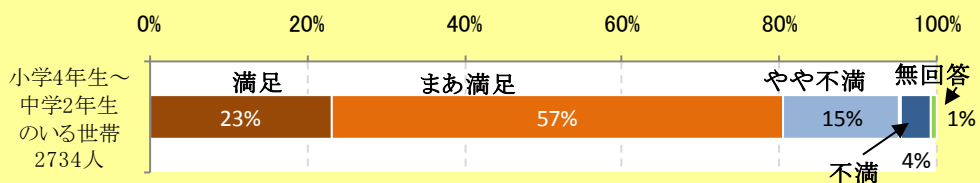
家庭時間の「内容の充実度」についても、6割弱～7割弱の世帯が「十分あった」、「概ね適当」と回答

問5-2 調査票を持ち帰ったお子さんと保護者の皆さんの「家庭時間」の「内容の充実度」は、次のどれに当てはまりますか(過去1年間ほどの間について)



《参考》 (全国 平成18年)

(問) (保護者に対して)あなたは、現在の家庭生活にどのくらい満足していますか。



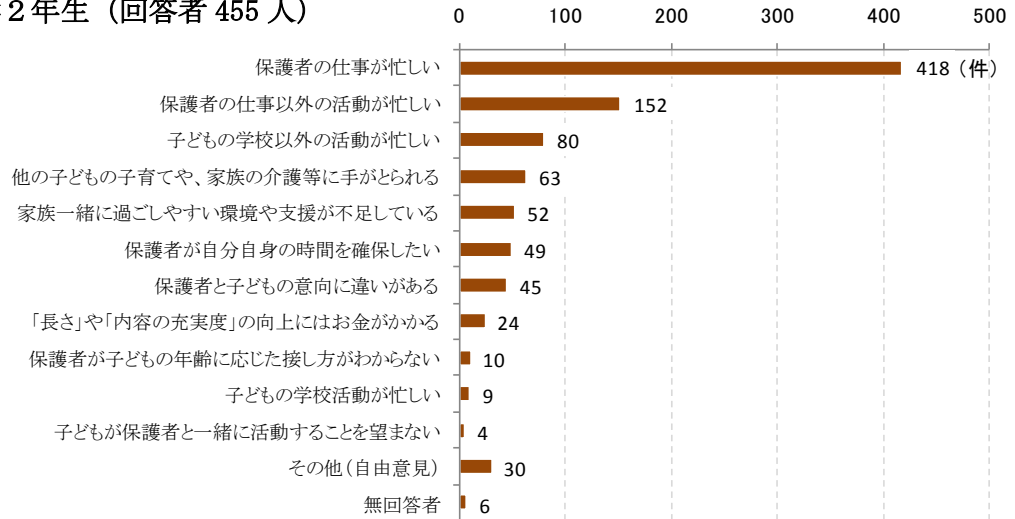
資料:内閣府「低年齢少年の生活と意識に関する調査」

* 設問、選択肢の内容が異なるため、福井県と全国を比較することはできません。

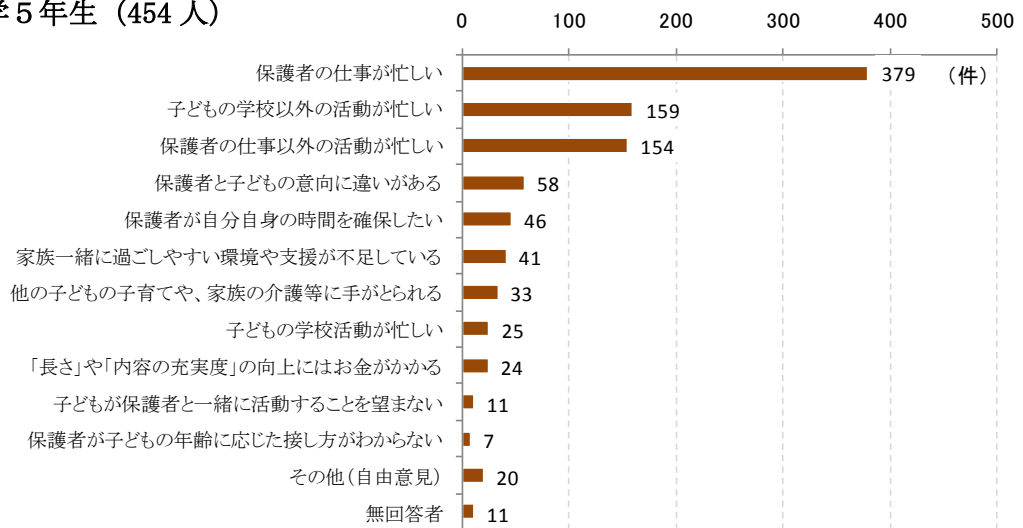
「不足の理由」は、いずれの学年も「保護者の仕事が忙しい」が最多
高学年になるほど、「子どもの学校、学校以外の活動が忙しい」が増加

問6 (質問5で「やや不足」または「非常に不足」と回答した方にお尋ねします。)
「家族時間」の「長さ」や「内容の充実度」が不足している理由は何だと思いますか。(2つまで回答)

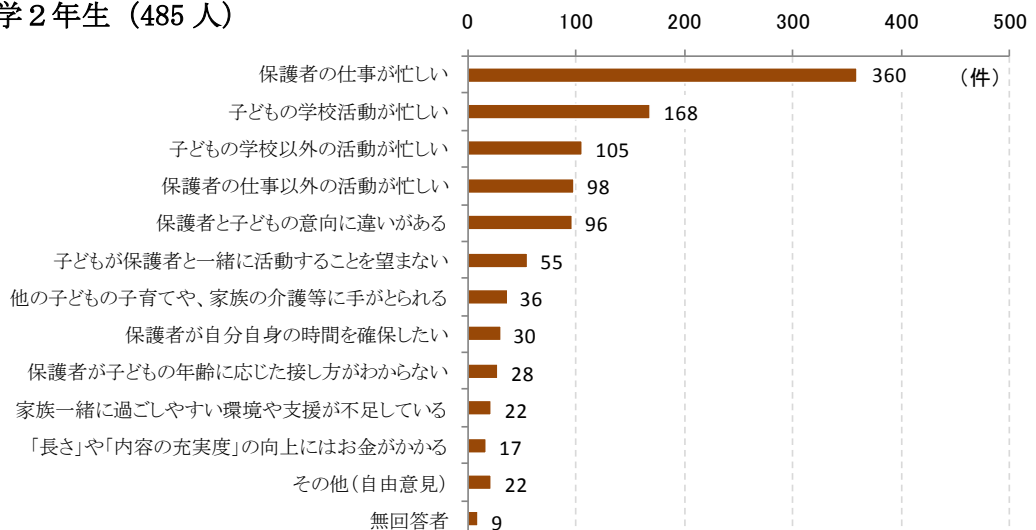
■小学2年生 (回答者 455人)



■小学5年生 (454人)



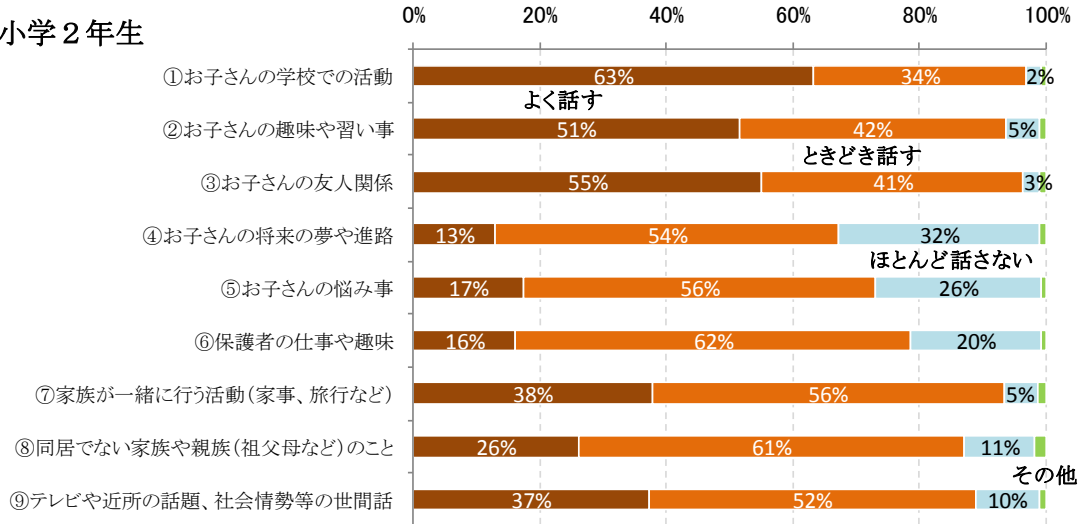
■中学2年生 (485人)



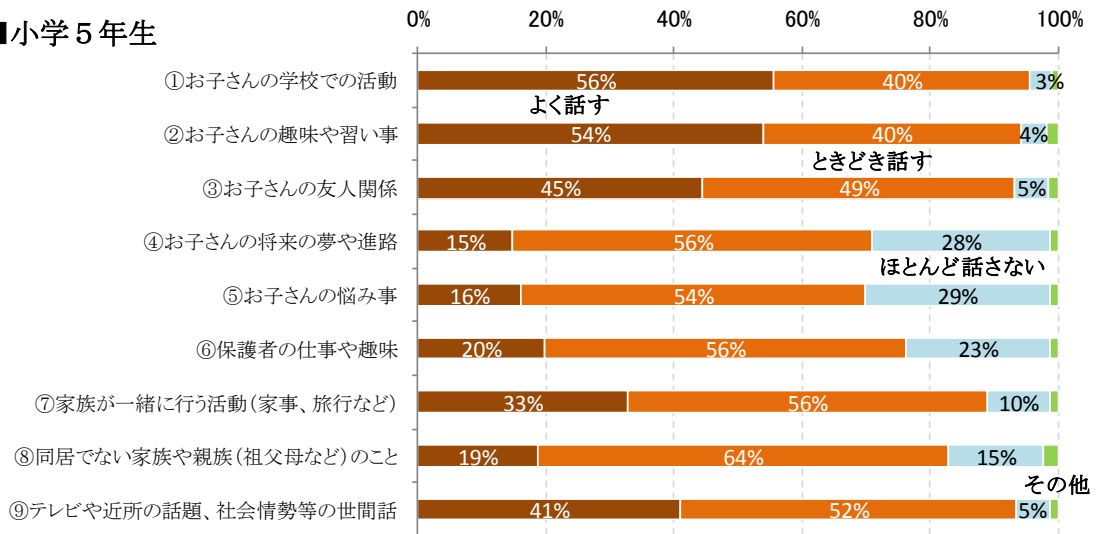
「お子さんの学校の活動」については、いずれの学年も95%が「よく話す」、「ときどき話す」と回答

問7 調査票を持ち帰ったお子さんと保護者の皆さんは、それぞれの項目についてどの程度話をしますか。

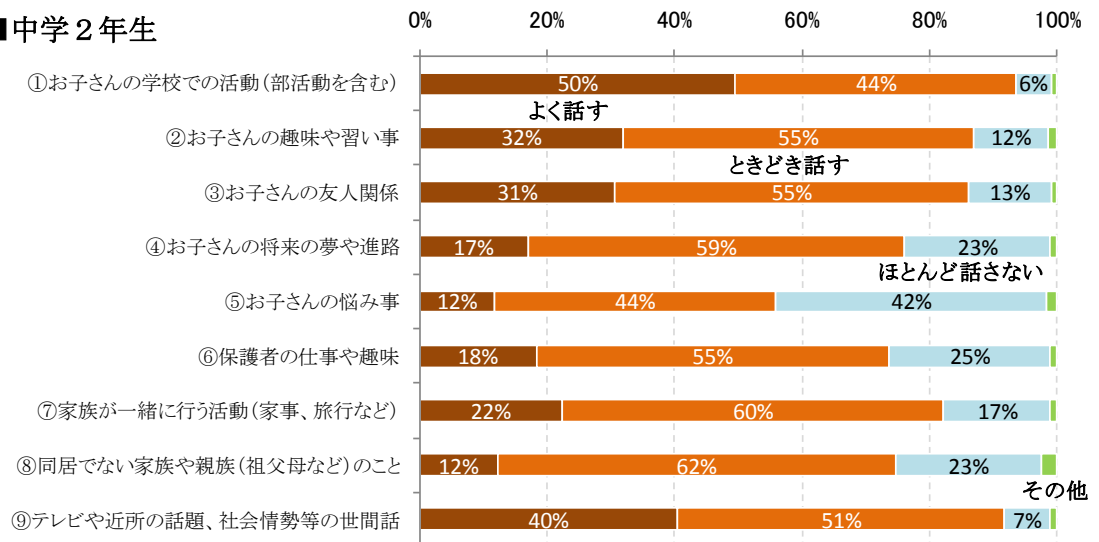
■小学2年生



■小学5年生



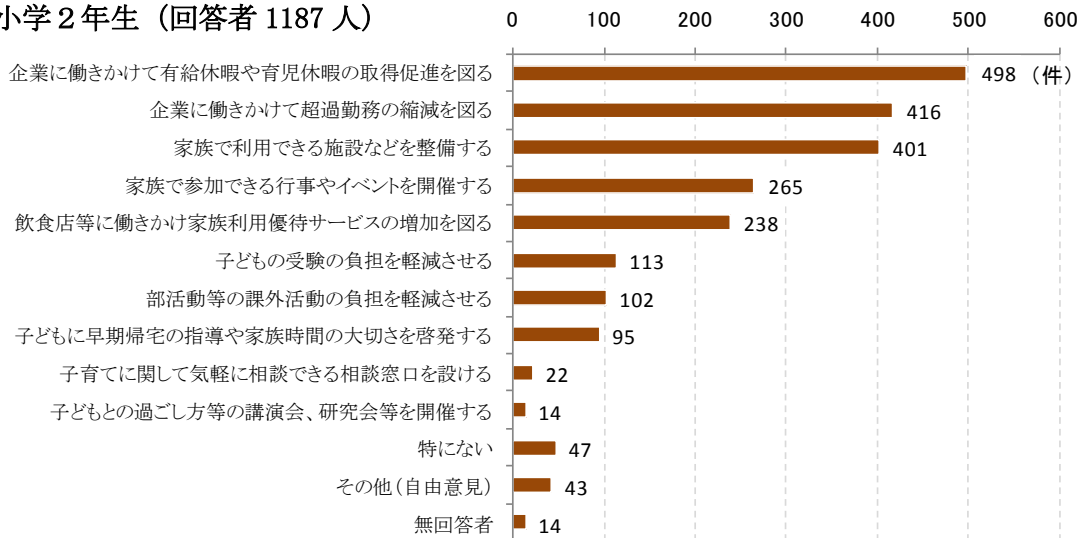
■中学2年生



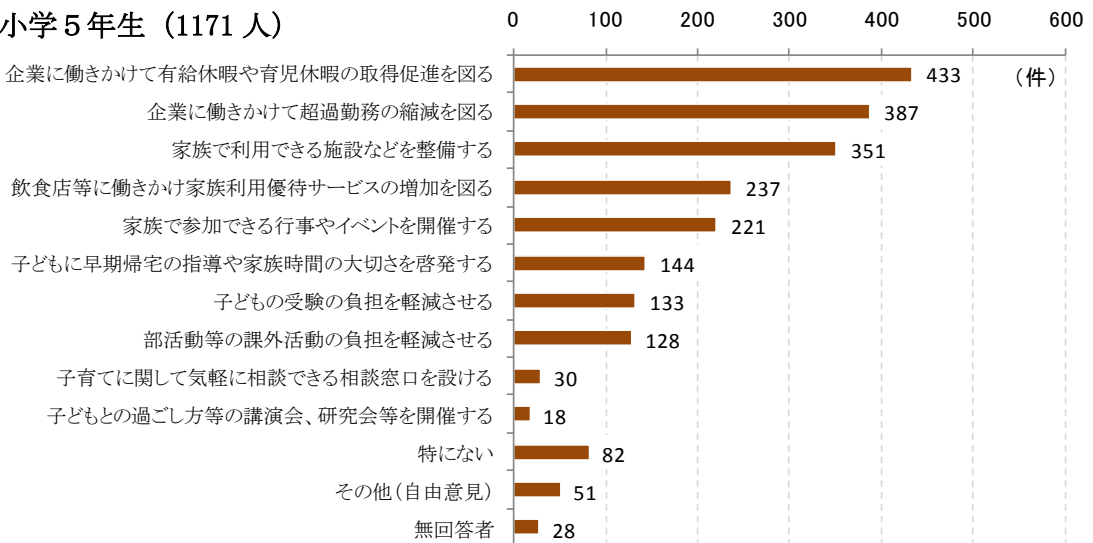
行政への要望は、いずれの学年も「企業への働きかけ(有給休暇や育児休暇の取得、超過勤務の縮減)」が多い。

問 8 「家族時間」をもっと増やしたり充実させたりするためには、行政はどのようなことを実施したらよいと思いますか。(2つまで回答)

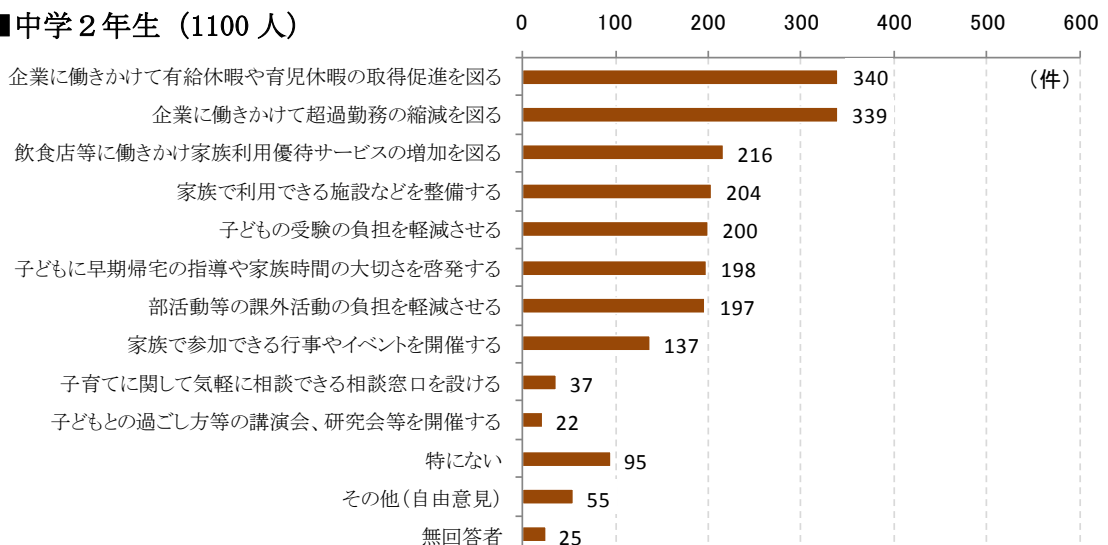
■小学2年生 (回答者 1187人)



■小学5年生 (1171人)



■中学2年生 (1100人)

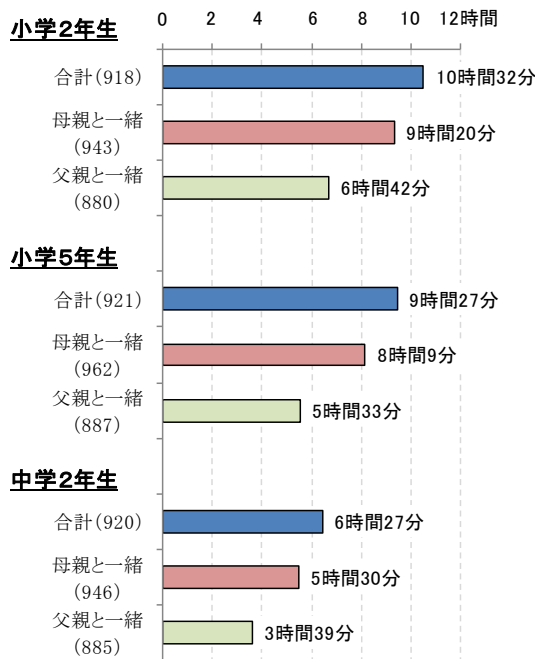


平日の母親の家族時間は4時間 1分、父親は1時間 52分(17、18日の単純平均)
子どもが大きくなるほど、家族時間は減少する傾向

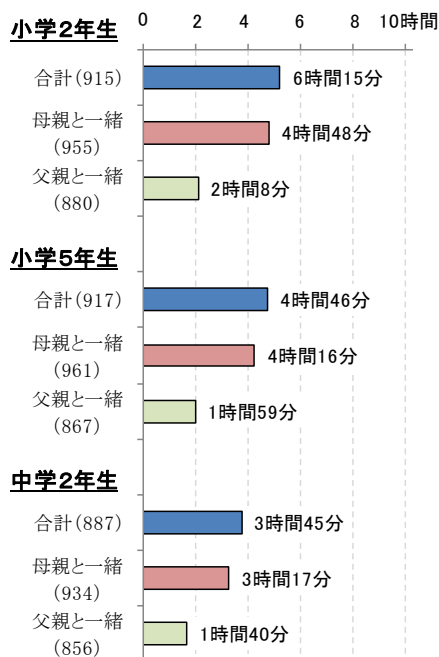
問9 11月16日(日)～18日(火)の3日間に、調査票を持ち帰ったお子さんと保護者の皆さんが「同じ目的で一緒に行動したり、同じ部屋で一緒に過ごしたりした時間(睡眠時間は除く)」はどのくらいありましたか。そのうち食事(朝・昼・夕)の時間はどのくらいありましたか。
合計時間の内、お父さん、お母さんが一緒だった時間はそれぞれどのくらいありましたか。

《家族時間》

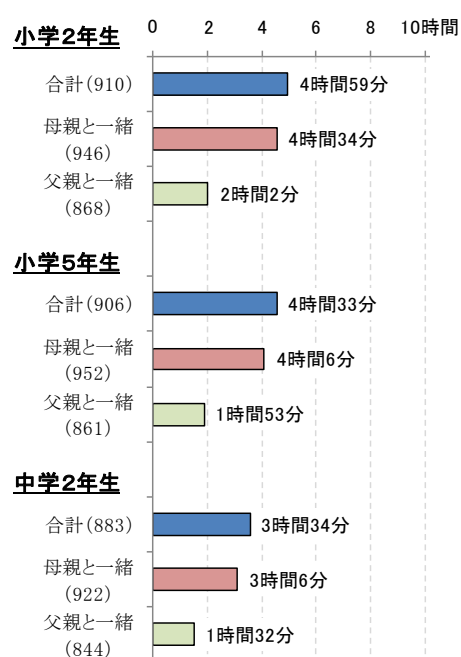
■11月16日(日)



■11月17日(月) 放課後活動定休日

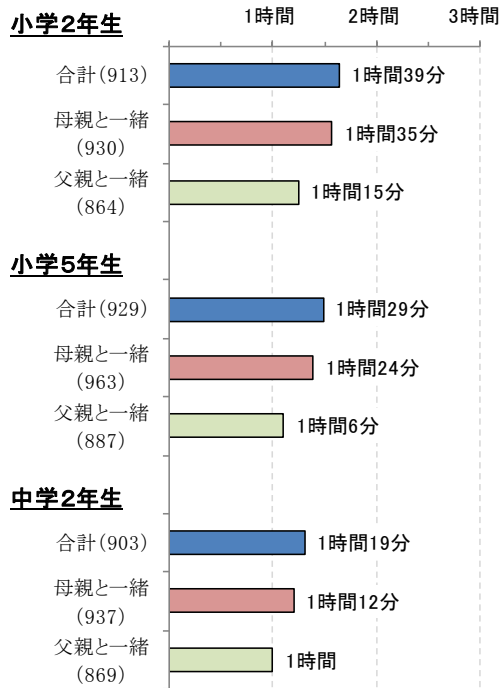


■11月18日(火)

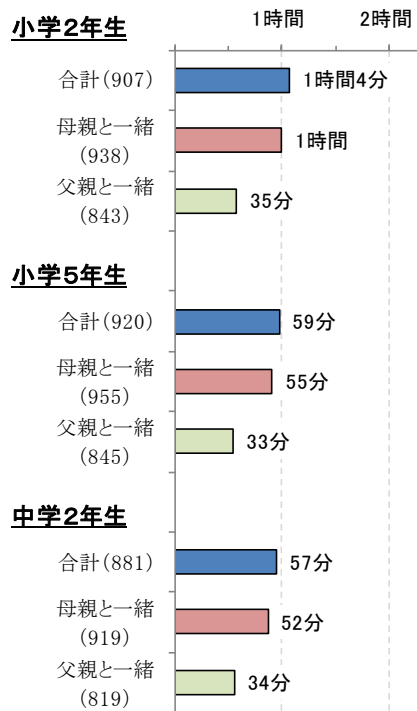


《食事時間》

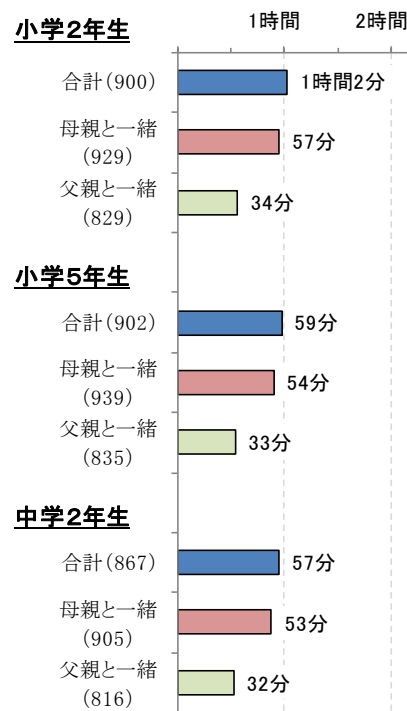
■11月16日(日)



■11月17日(月) 放課後活動定休日



■11月18日(火)



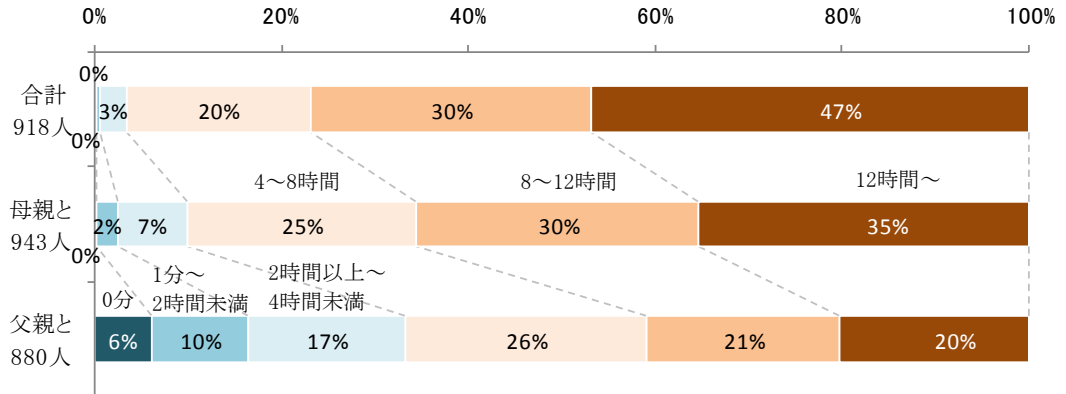
○時間区別に家族時間の状況をみると

小学2年生

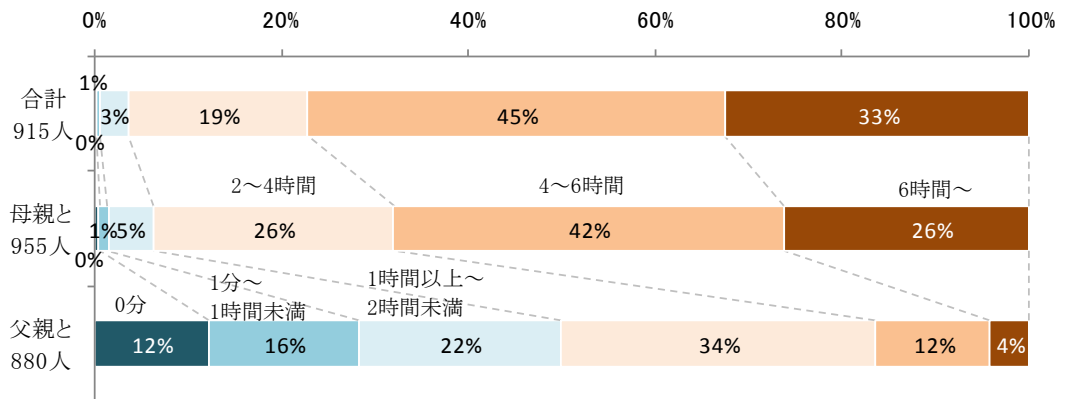
放課後活動定休日(17日)の家族時間をみると、
子どもと2時間以上一緒に過ごした母親は、全体の94%
子どもと一緒に過ごす時間のなかった父親は、12%

○お子さんが、保護者の皆さん、父親、母親と一緒に過ごした時間

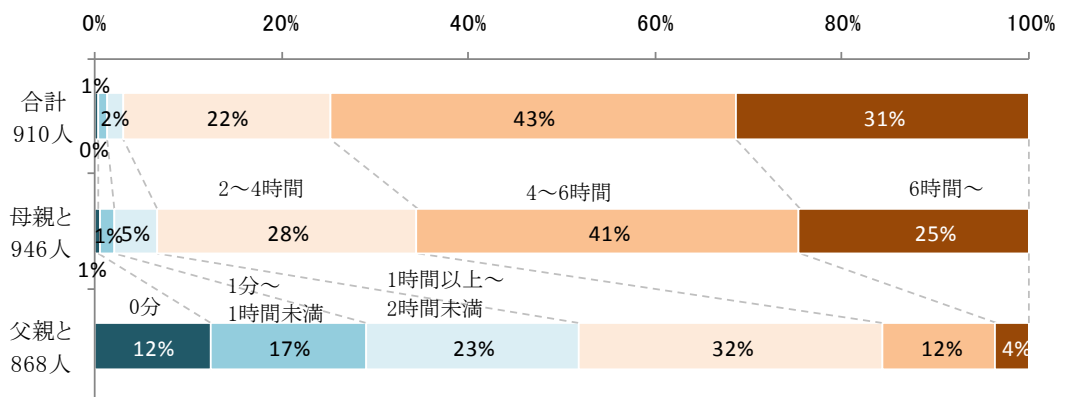
■11月16日(日)



■11月17日(月) 放課後活動定休日



■11月18日(火)

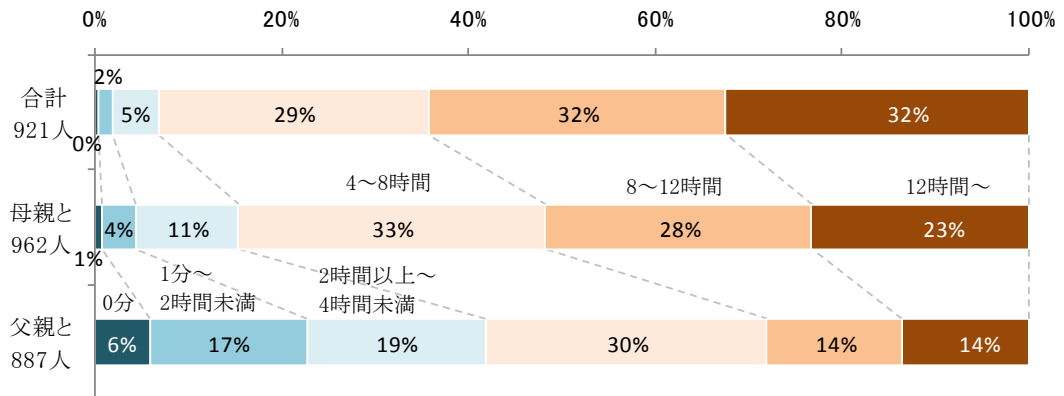


小学5年生

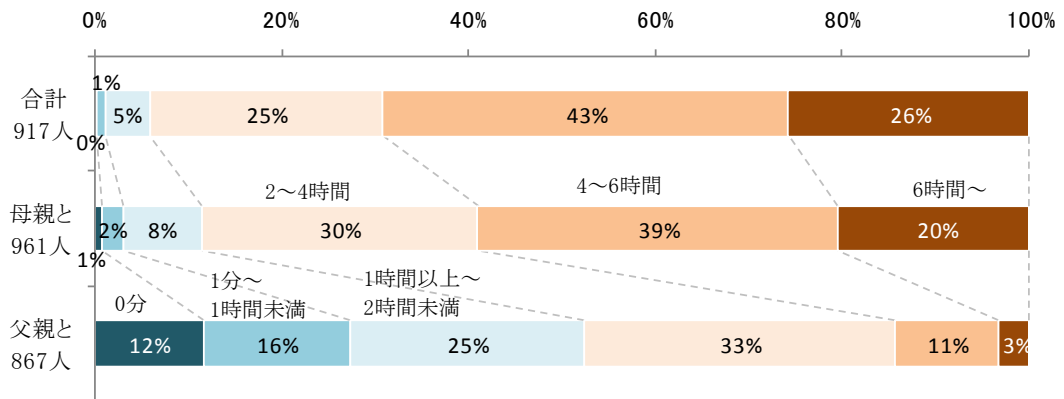
放課後活動定休日(17日)の家族時間をみると、
子どもと2時間以上一緒に過ごした母親は、全体の89%
子どもと一緒に過ごす時間のなかった父親は、12%

○お子さんが、保護者の皆さん、父親、母親と一緒に過ごした時間

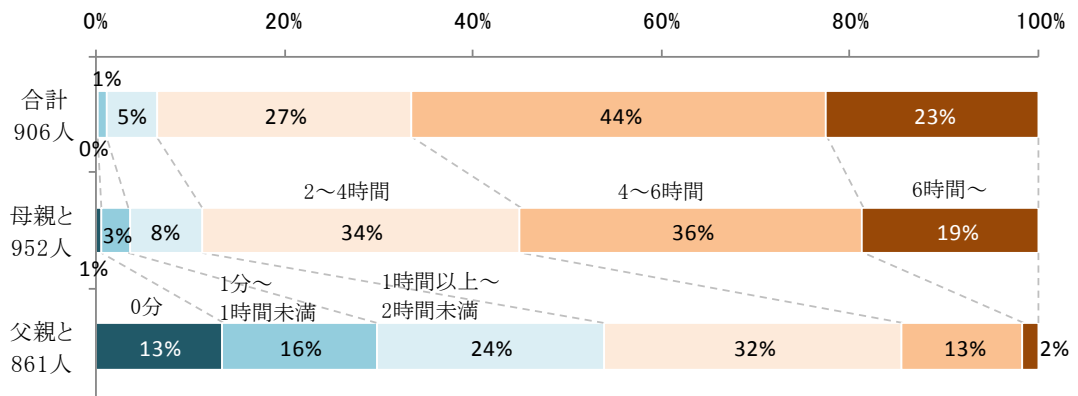
■11月16日(日)



■11月17日(月) 放課後活動定休日



■11月18日(火)

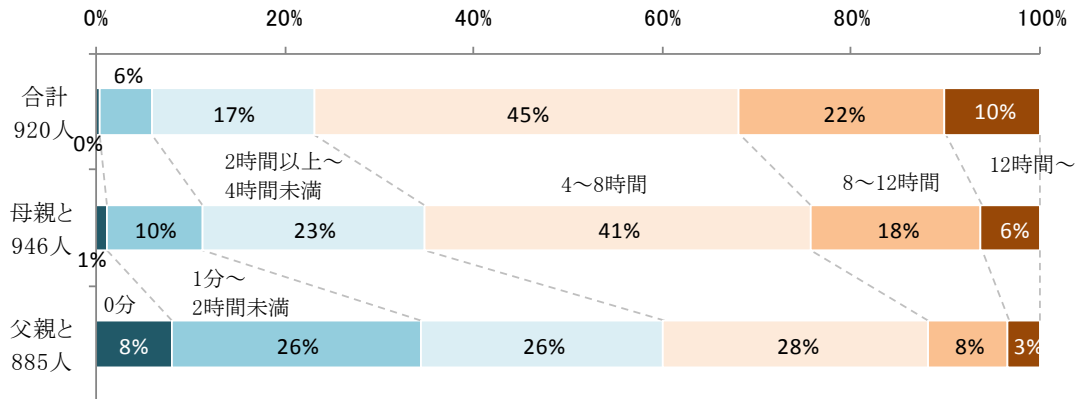


中学2年生

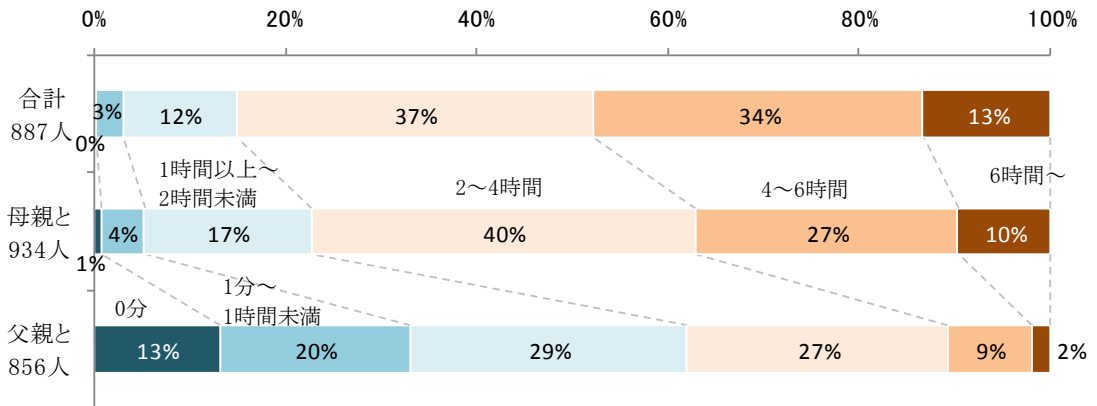
放課後活動定休日(17日)の家族時間をみると、
子どもと2時間以上一緒に過ごした母親は、全体の77%
子どもと一緒に過ごす時間のなかった父親は、13%

○お子さんが、保護者の皆さん、父親、母親と一緒に過ごした時間

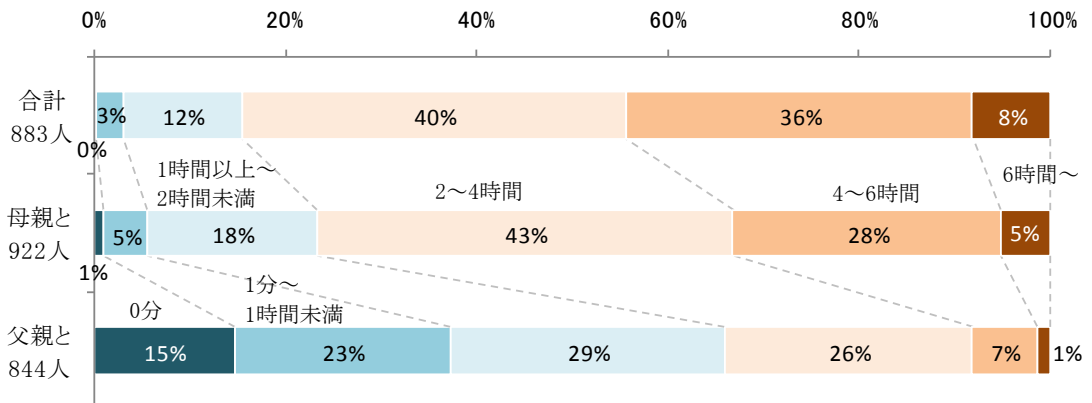
■11月16日(日)



■11月17日(月) 放課後活動定休日

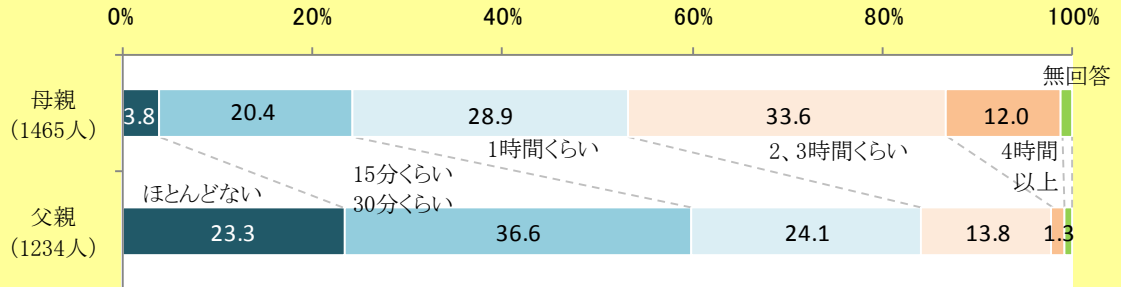


■11月18日(火)



《参考》（全国 平成 18 年）

(問) (保護者に対して)あなたが、平日にお子さん(小学4年生～中学3年生)と一緒に何かをしたり、お子さんの相手をしている時間は、平均するとだいたいどれくらいになりますか。



資料:内閣府「低年齢少年の生活と意識に関する調査」

* 設問、選択肢の内容が異なるため、福井県と全国を比較することはできません。

○主な自由意見

■質問6 この調査を持ち帰ったお子さんと保護者の皆さんの「家族時間」の「長さ」や「内容の充実度」が不足している理由は何だと思われますか。

- ・毎日、仕事が終わりに、子どもを迎えに行き、寝るまでの時間は3時間程、夕食、お風呂、洗濯と必要なことだけで日々過ぎてしまいます。ゆっくり話をする時間はどうすればとれるのでしょうか!?
- ・事業所は全く家族時間のことなんて考えていないように思うので、早く帰りたくても帰れない。

■質問8 「家族時間」をもっと増やしたり充実させたりするためには、行政はどのようなことを実施したらよいと思いますか

- ・家族時間の大切さを啓発すべきなのはむしろ親の方なのかもしれません。子どもをおいて自分の趣味にでかけたり・・・という親が多いような気がします。親なら自分の事よりまず子どもの事をという意識がなさすぎのような気がします。
- ・介護の負担が次世代のだんらんをむしばんでいる。高齢化対策として介護制度を充実させないと子どもの話を聞く間もない。
- ・企業に働きかけて、父母が働いている姿を子どもが見る機会をもうける。帰宅時、親が家庭に不在である事は子どもにとってよいこととは思えませんが、せめて親が一生懸命働いている姿を見て、子どもが「働く」事への理解する一助となればと思います。

■質問10 「家族時間」や「家族時間を伸ばす県民運動」を行政が推進することに関して、皆さんの率直なご意見やご要望をお聞かせ下さい。

○家族時間の推進について

- ・行政が推進している事は知っていますが、ほとんど民間には伝わっていないと思います。「お知らせ」するだけでは、伸びない施策ではないでしょうか。企業にはたらきかけることが重要ではないでしょうか。
- ・職場で以前より休みをとりやすくなった。休みを取るように言われるなど取りやすい雰囲気になってきた。これは時代の流れの中で土曜を完全に休みにしたり、育休をとりやすくなったりとやはり行政主導で働き方を変えた効果が出ていると思う。
- ・行政が推進することに意味がないと思う。いろいろな家庭があるのだから家族が一緒に過ごす時間を行政がどうこう言うのはおかしいのではないのでしょうか。

○放課後活動定休日について

- ・「放課後活動定休日」があっても、早く家に帰れるのは子どもだけで、保護者が仕事を早く終わらせるのは難しいと思います。

○イベントの開催について

- ・色々なイベントを企画するのは必要ないと思います。それにたずさわる人や地域での役割の負担が重くなり、結局自由がきかなくなります。”地域で”とかの言葉をきくだけで、正直、両立を思うと気が重くなるだけなんです。
- ・行政にお願いしたいことは遠くに大きなイベント会場よりも忙しい親と遊び方を知らない子どもたちが少しの時間でも気軽に行けるひとりでなくても誰かが遊んでいる各町にある小さい公園だったりするのではないのかなと思います。

○共働き社会の福井 女性は働きすぎ

- ・転勤族で福井県へは4月に転入してきましたが、福井市に居て思うことは、一昔前を感じます。お母さん方は働きすぎで、お子さん達のさみしいとか楽しいを受け止めきれていない気がします。このままだと、都会のダメ路線をたどってしまう。一昔前なのだから、間に合うのに・・・他人に任せ切りにせず、子どもと一緒に自分も成長する努力をするべきです。うちに遊びに来るお友達のさみしそうな顔が痛々しいですよ。
- ・福井県は、共働き社会です。女性も働く事にあまり疑問がありません。子どもに負担をかけているのもわかっているつもりです。私自身子どもの時に、淋しい思いをした事があります。女性はがんばっていると思います。男性もがんばっているかもしれませんが、社会が男性の育児を見直すべきだと思います。

○スポーツ少年団について

- ・息子がスポーツ少年団に入ってから、土日の「家族時間」が少なくなってしまいました。スポーツ少年団に入って得るものも多いのですが、家族としての点ではさみしい気がします。スポ少の在り方も考えさせられます。
- ・スポ少も大変だけど、親子で楽しめる大切な時間だなと思います。自分時間を大切にする親が多くなっている今、どのスポ少も子ども不足、そして親の不足で悩み中です。スポ少は入ってみると、意外と楽しいという事に気づいてほしいものです。

○部活動について

- ・大会等の日がせまると部活動の時間が多くなり土日祭日も休みなしで学校へ行かなければならないような教育を考え直してほしい。

○有給休暇が取りにくい実態

- ・社内で有給休暇を取ると査定 point が下がるようなことになっているようで、少子化対策、家族時間の確保とは縁が遠いように感じてなりません。

○家族の原点は家族そろって食事をする事から

- ・我が家は必ず夕食朝食は一緒に食べるようにしてます。まず原点は食事からだと思います。
- ・家族が7名なので一緒に食事をして子どもたちの話に耳を傾けるよう大人たちは努力しています。我が家は意見のぶつかりあい（子どもと大人）もありますが、じっくり話して笑顔と歌声が絶えない家です。こんな家を自慢に思えます。

2 児童・生徒向けアンケート（「家族との生活」について）

(1) 回答者の属性

○小学2年生

【性別】

	回答者数	構成比
男	638	51%
女	607	49%
無回答その他	1	0%
計	1,246	100%

【家族の人数】

	回答者数	構成比
1人	0	0%
2人	9	1%
3人	86	7%
4人	359	29%
5人	296	24%
6人	242	19%
7人以上	253	20%
無回答その他	1	0%
計	1,246	100%

【兄弟姉妹の有無】

	回答者数	構成比
いる	1,101	88%
いない	145	12%
無回答その他	0	0%
計	1,246	100%

【放課後や土日における学校以外の習い事】

	回答者数	構成比
文化系の活動	296	24%
スポーツ系の活動	337	27%
両方	301	24%
していない	311	25%
無回答その他	1	0%
計	1,246	100%

*文化系の活動・・・学習塾、そろばん、ピアノ、書道等

*スポーツ系の活動・・・サッカー、野球、スイミング、剣道、バレエ等

○小学5年生

【性別】

	回答者数	構成比
男	631	51%
女	609	49%
無回答その他	0	0%
計	1,240	100%

【家族の人数】

	回答者数	構成比
1人	2	0%
2人	13	1%
3人	83	7%
4人	349	28%
5人	315	25%
6人	243	20%
7人以上	233	19%
無回答その他	2	0%
計	1,240	100%

【兄弟姉妹の有無】

	回答者数	構成比
いる	1,116	90%
いない	124	10%
無回答その他	0	0%
計	1,240	100%

【放課後や土日における学校以外の習い事】

	回答者数	構成比
文化系の活動	266	21%
スポーツ系の活動	356	29%
両方	409	33%
していない	208	17%
無回答その他	1	0%
計	1,240	100%

○中学2年生

【性別】

	回答者数	構成比
男	608	51%
女	578	49%
無回答その他	1	0%
計	1,187	100%

【学校における部活動】

	回答者数	構成比
文化系の部活動	247	21%
スポーツ系の部活動	884	74%
していない	55	5%
無回答その他	1	0%
計	1,187	100%

【家族の人数】

	回答者数	構成比
1人	2	0%
2人	8	1%
3人	66	6%
4人	278	23%
5人	328	28%
6人	291	25%
7人以上	213	18%
無回答その他	1	0%
計	1,187	100%

【兄弟姉妹の有無】

	回答者数	構成比
いる	1,097	92%
いない	89	7%
無回答その他	1	0%
計	1,187	100%

【放課後や土日における学校以外の習い事】

	回答者数	構成比
文化系の活動	506	43%
スポーツ系の活動	82	7%
両方	78	7%
していない	519	44%
無回答その他	2	0%
計	1,187	100%

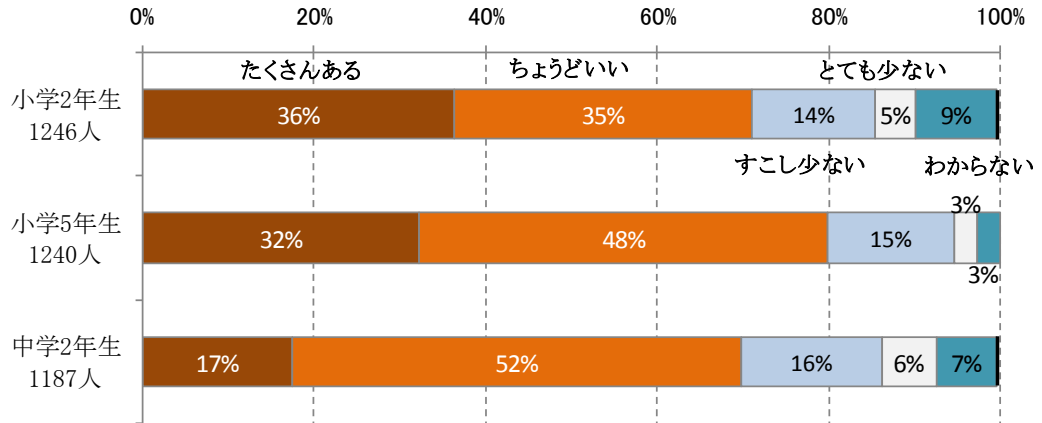
*文化系の活動・・・学習塾、そろばん、ピアノ、書道等

*スポーツ系の活動・・・サッカー、野球、スイミング、剣道、バレエ等

(1) 設問別の調査結果

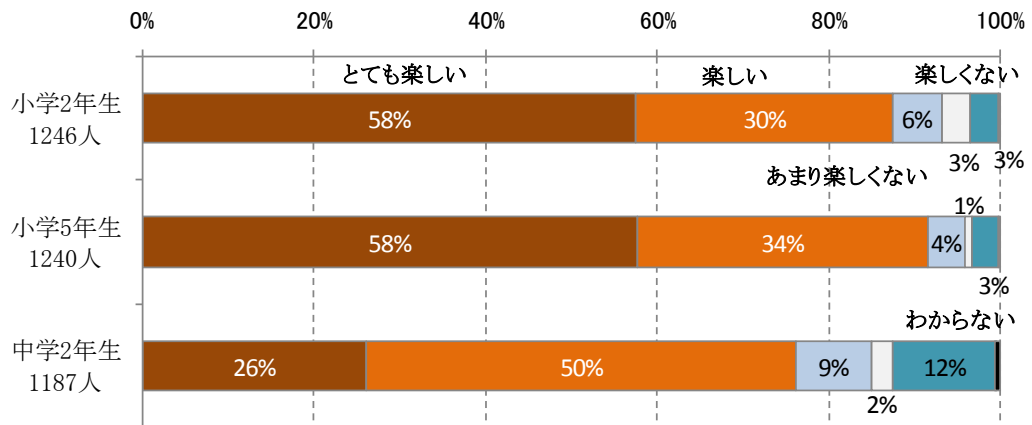
小学5年生の約8割、小学2年生・中学2年生の約7割が、家族時間が「たくさんある」、「ちょうどいい」と回答

問 日頃、家族時間(子どもだけの時間、家の中で家族が別々に行動している時間は除く。)はどれくらいありますか。

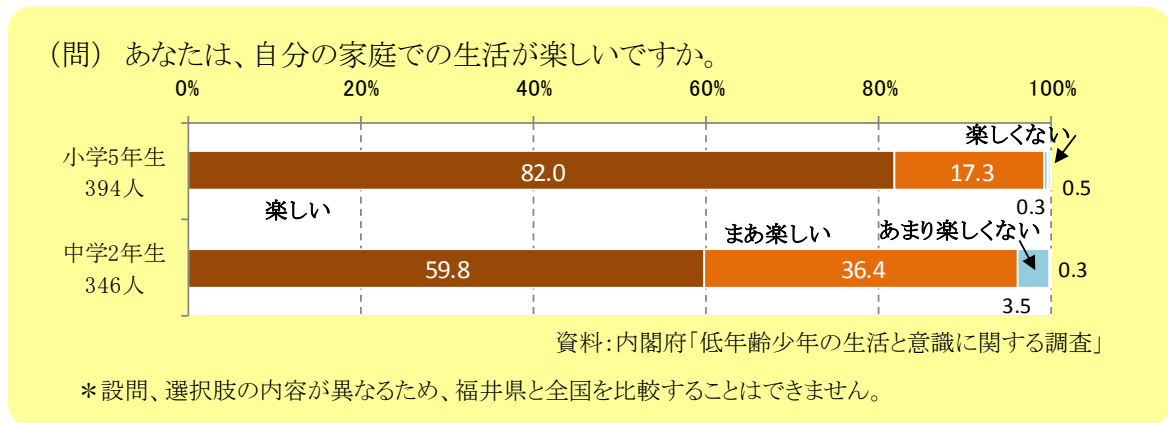


小学2年生、5年生の約9割、中学2年生の8割弱が、家族との生活は「とても楽しい」、「楽しい」と回答

問 家族との生活はどうですか。




《参考》 (全国 平成 18 年)



○主な自由意見

■質問 家族の人をお願いしたいことがありましたら、書いてください。

- ・もうちょっといっしょにあそんでほしい。いっしょにもうちょっといっしょにいてほしい
 - ・お休みの日にあそぼう。毎日おいしいごはんを作ってね。ながいきしてね。たばこやめてね。
 - ・あまりおこらないでね。ぼくもいもうとをおこらないようにします。
 - ・いつもつかれてきてるのにお兄ちゃんとけんかをしておこらせるようなことをしてごめんなさい。「おかあさん」
 - ・おかあさんおとうさんお話をしてね。おとうさんおんぶしてほしいです。
 - ・ぼくがおきている時間にパパが会社からかえってきてほしい。
 - ・音読ちゃんときいてください。
 - ・おにいちゃんばかりにはなしをしないとわたしにもはなしをしてほしい
 - ・早くいっしょにおじいちゃんとおふろにはいりたい。
 - ・いつもいっしょにいてくれてありがとう。おばあちゃんへ。
- 
- ・自分のことばかりじゃなく人の話を聞いてほしい。「いそがしい」とって話を聞いてくれない。
 - ・パパとママと仲よくしてほしい
 - ・私がテレビ見てるのにかってにチャンネルかえないで
 - ・妹にやさしすぎ（お父さん）自分には、少し冷たい。
 - ・長生きしてほしいです。
 - ・日曜日お父さんがたまに休みだと、どこかにちょっとだけでもいいから出かけたたい。
 - ・つかれたら「つかれた」って言ってほしいし、おもしろかったら「おもしろかった」って言ってほしい。私に「つかれた」って言ったら、お母さんやお父さんにリラックスしてあげたいと思って、がんばって手伝いするよ。
 - ・仕事だから、しかたないけど、お母さんがもうすこしはやく帰ってきてほしい。
- ・ノックをしてから部屋に入ってほしい
 - ・屁をねたにしてウケをねらわないでください。咳をただけなのにそれより大きい声でうるさいと怒鳴らないでください。
 - ・健康面では無理をするのはいいけど精神面で苦しくなったら無理をしないでほしい
 - ・お小遣いを増やしてほしい

(注) 子どもたちの書いた文章をそのまま掲載しています。